

〈個人研究〉

「インド国内労働力移動の実態と要因：ビハール州からデリー首都圏への移動に関する県レベル実証分析」

インド国内労働移動分析にむけて

—— 国勢調査人口移動データにみる州レベルの特徴 ——

島 根 良 枝*

1 はじめに

インドの労働移動については、労働移動者や都市部居住者の人口に対する比率が他国との比較で低水準であり、かつ地域間の賃金格差が大きいことから、移動を通じた地域的な労働力の最適配分が実現していないとする見方が定見であった。これに対し、次の3つに大別される見解が示されている。すなわち、Young (2013) を嚆矢とした、賃金格差に応じた労働移動が実現しており、残る賃金格差は労働者のスキル格差を反映したものであるとする議論、Munshi and Rosenzweig (2016) に代表される、村落におけるネットワークが保険として機能しているなど各種の制度的要因により労働移動が低位にとどまっているとする議論、さらに Government of India (2017) など、新たな手法を用いて労働移動の推計を行い、かねて認識されてきたよりも大規模に労働移動が生じているとする議論である。

いずれもインドの労働移動が低水準にとどまっているというパラドクスの説明を試みるものであり、移動労働者に関する学歴などの属性や就業形態を考慮していない点で共通している。また前2者の議論は労働移動および賃金格差として農村・都市部間の労働移動と賃金格差に注目しており、例えばどの地域の農村部からどの地域の都市部への移動なのかという、農村・都市の区分以外の移

動元と移動先の地域性を考慮していない。

しかし、財・サービス、資本の移動に比べて人の動く労働の移動には、個人や地域に関する多様な属性が影響している可能性がある。労働移動の全体像を性質の異なる幾つかの移動流が重層的に重なったものであると捉え、それぞれの移動流について異なるメカニズムが機能している可能性を許容するアプローチが必要ではないだろうか。本稿では、そうした労働移動の分析に向けて、2019年によく公表の始まった2011年インド国勢調査 (Census of India) の人口移動データを用いて、同データについて理解を深めるとともに、どのような人々がどこからどこに移動しているかを腑分けして把握する最初の試みとして州レベルでみた移動の特徴を考察する。

2 国勢調査人口移動データの概要

インドの人口・労働移動に関し利用可能な政府統計には、人口統計としての国勢調査と、雇用統計としての全国標本調査 (National Sample Survey: NSS) の雇用失業調査 (Employment & Unemployment Situation in India) がある。雇用失業調査は、直近では第64次調査 (NSS 64th Round, July 2007-June 2008) が雇用失業・人口移動調査 (Employment & Unemployment and Migration Particulars) として実施されたように、調査回によっては人口移動についての調査項目 (Schedule 10.2) が含まれる。

* 龍谷大学経済学部 准教授

インドの国勢調査はその詳細な内容にもかかわらず、紙媒体で膨大なデータを扱うのが困難であり¹⁾、またインド国内外を問わず遠方からのデータ入手が難しかったため部分的な利用にとどまることが多かった。国勢調査を管轄するインド内務省 (Ministry of Home Affairs) の人口登録およびセンサス局 (Office of the Registrar General & Census Commissioner, India) が、公式ウェブサイト Census Digital Library (以下、CDL)²⁾を設け、集計結果を電子ファイルとしてダウンロード可能とする方法で提供し始めたことを契機に体系的な活用が進みつつある³⁾。ただし公表に時間がかかるという問題は残り、2011年調査の各集計シリーズのうち人口移動に関する D Series: Migration Tables (以下、D-Series) は、ようやく2019年7月にCDL内で集計結果が公開され始めた⁴⁾。D-Series 全13表のうち D-8、D-9 表は、2020年3月末時点でも未公表である。

国勢調査は調査時点の現住地で行われる悉皆調査であり、インドでは英領インド時代の1872年に初めて実施された後、1881年以降は10年毎に2011年まで計15回実施されてきた⁵⁾。人口移動には、出生地 (place of birth: POB) 基準の移動と前住地 (place of last residence: POLR) 基準の移動がある。インドでは1961年までは出生地基準による生涯移動 (lifetime migration) のみが調査対象であった。1971年以降は、出生地と前住地基準の双方の移動について、(a) POB/POLR、(b) Rural/Urban、(c) District、(d) State/Country が質問項目とされている。Rural/Urban は農村部か都市部かについての移動当時の区分⁶⁾、District は県である。インド全体で県の数 は2001年に593、2011年には640であった。State はここでは州 (state) と直轄領 (union territory) の双方を指し、2001年および2011年には州が28、直轄領が7と不変である⁷⁾。ちなみに前住地が国外の場合は国名のみが調査される。

労働移動を含む人口移動に関する表群である D-Series について、各表の表題を表1に示した。2001年は D-1 表から D-12 表で構成されており、2011年については未公表の表が残るもののほぼ同じ構成である。これらの表の集計単位は1991年ま

では州であったが、2001年以降は県になった。さらに D-11 表を除くと、すべての調査地と移動元について、農村部、都市部、それらを合わせた全体 (Total) の集計値が示されている⁸⁾。

D-2 表を用いると、県レベルの調査地別に、各州からの移動人数を男女別、居住期間別に確認することができる。前述の通り、国勢調査の前住地に関する質問項目には州だけでなく県が含まれる。しかし、2001年までは D-Series 全ての表で前住地は州レベルの集計が公表されたのみであった。すなわち、現住地である州と県それぞれへの移動について、どの州からの移動であったかという移動元州は確認できるが、どの県からの移動であったかという移動元県は確認できない。2011年の D-Series についても、既に公開された限りでは同様である。

本稿では、2001年と2011年の D-2 表と D-3 表を利用し⁹⁾、前住地基準でみた前回調査から当該調査までの間に起こった移動であるセンサス間移動 (intercensal migrants) を対象に考察する。両表中では調査地と前住地の異なる移動人口について、現住地における居住期間が1年未満、1～4年、5～9年、10～19年、20年以上の、5つの区分で内訳が示されている。センサス間移動は現住地での居住期間が10年未満の移動であり、1年未満、1～4年、5～9年の3区分の合計である。

1981年国勢調査以降は移動理由が調査項目に加わっており、D-3 表からは移動理由別のデータが得られる。移動理由には仕事/被雇用 (Work/employment)、事業 (Business)、教育 (Education)、結婚 (Marriage)、出生後の移動 (Moved after birth)、家族に帯同 (Moved with household)、その他 (Others) の7つがある¹⁰⁾。表2でみると、男性の移動は仕事/被雇用が主要な理由であるとはいえ、2011年には事業理由と併せてもセンサス間移動の4割に満たない。しかも2001年から2011年にかけてそのシェアが低下する一方、その他理由の移動がシェアを拡大している。

国勢調査では、労働者がセンサス間に複数回移動した場合でも最後の移動についてのみ調査され、移動者は移動当時の理由を7つの選択肢から1つ選ぶかたちで回答する。我々の関心は労働移動で

あるが、仕事/被雇用、事業という2区分の理由による移動のみに考察対象を絞ると、労働移動が過少評価される可能性がある。先に人口・労働移動に関するいま一つの統計として言及したNSSの第64次雇用失業・人口移動調査は、調査時点から1年以内の移動の有無と移動の理由に関するサンプル調査である。移動理由には計17の選択肢があり、うち労働関連では求職、事業、就職、配属

替え、住職接近という5つの選択肢が設けられ、求職を区別して把握できる。2007年7月～2008年6月に実施された同調査の推計値から計算すると、男性については労働関連の移動が77.5%に達する（National Sample Survey Office, 2010, p. A-34）。内訳としては58.9%が求職以外、すなわち職の決まった状態での移動であり、18.6%が求職理由による移動である。国勢調査の仕事/被雇用、事業

表1 インド国勢調査 Migration Tables (D-Series) の表題と集計単位

(a) 2001年

表題	集計単位
D-1: Population Classified by Place of Birth and Sex	県
D-1 (Appendix): Population Classified by Place of Birth, Age and Sex	
D-2: Migrants Classified by Place of Last Residence, Sex and Duration of Residence in Place of Enumeration	県
D-2 SC: Migrants Within the State/Ut Classified by Place of Last Residence, Sex and Duration of Residence in Place of Enumeration for Scheduled Caste	州
D-2 ST: Migrants Within the State/Ut Classified by Place of Last Residence, Sex and Duration of Residence in Place of Enumeration for Scheduled Tribe	州
D-3: Migrants by Place of Last Residence, Duration of Residence and Reason for Migration	州
D-3 City: Migrants by Place of Last Residence, Duration of Residence and Reason for Migration	市
D-3 SC: Migrants Within the State/Ut by Place of Last Residence, Duration of Residence and Reason of Migration for Scheduled Caste	州
D-3 ST: Migrants Within the State/Ut by Place of Last Residence, Duration of Residence and Reason of Migration for Scheduled Tribe	州
D-4: Migrants by Place of Last Residence, Age, Sex, Educational Level and Duration of Residence	州
D-4 City: Migrants by Place of Last Residence, Age, Sex, Educational Level and Duration of Residence	市
D-5: Migrants by Place of Last Residence, Age, Sex, Reason for Migration and Duration of Residence	州
D-5 City: Migrants by Place of Last Residence, Age, Sex, Reason for Migration and Duration of Residence	市
D-6: Migrants by Place of Last Residence, Economic Activity, Age, Sex and Duration of Residence	州
D-6 City: Migrants by Place of Last Residence, Economic Activity, Age, Sex and Duration of Residence	市
D-7: Migrants by Place of Last Residence With Duration 0-9 Years Reporting 'Work/Employment' As Reason for Migration by Age, Sex and Educational Level	州
D-7 City: Migrants by Place of Last Residence With Duration 0-9 Years Reporting 'Work/Employment' As Reason for Migration by Age, Sex and Educational Level	市
D-8: Migrant Workers by Place of of Last Residence and industrial Category	県
D-8 City: Migrant Workers by Place of of Last Residence and industrial Category	市
D-9: Migrant Workers (Other Than Cultivators and Agricultural Labourers) From Place of Last Residence and Occupational Division	県
D-9 City: Migrant Workers (Other Than Cultivators and Agricultural Labourers) From Place of Last Residence and Occupational Division	市
D-10: Migrants by Place of Last Residence, Age, Sex, Marital Status and Duration of Residence 0-9 Years	県
D-10 City: Migrants by Place of Last Residence, Age, Sex, Marital Status and Duration of Residence 0-9 Years	市
D-11: Persons Born and Enumerated in Districts of the State	県
D-11 SC: Persons Born and Enumerated in Districts of the State	県
D-11 ST: Persons Born and Enumerated in Districts of the State	県
D-12: Migrants by Place of Last Residence with Duration of Residence as 0-9 Years and Age	州

（資料）CDL 内の <http://censusindia.gov.in/DigitalLibrary/TablesSeries2001.aspx>、および <http://censusindia.gov.in/DigitalLibrary/TablesSeries2001.aspx> より作成。

(b) 2011年

表題	集計単位
D-1: Population classified by place of birth and Sex - 2011 (India/State/UT/District)(Appendix)	県
D-2: Migrants classified by place of last residence, sex and duration of residence in place of enumeration - 2011 (India/State/UT/District)(Total, SC/ST)	県
D-3: Migrants by place of last residence, duration of residence and reasons for migration - 2011 (India/State/UT/District/City/UA)(Total, SC/ST, Appendix)	県
D-4: Migrants by place of last residence, age, sex, educational Level and duration of residence - 2011 (India/State/UT/District)	県
Provisional -D-5 Migrants By Place Of Last Residence, Age, Sex, Reason For Migration And Duration Of Residence-2011 (India/States/UT)	州
D-5: Migrants by place of last residence, age, sex, reason for migration and duration of residence - 2011 (India/State/UT/District)	県
D-6: Migrants by place of last residence, economic activity, age, sex and duration of residence - 2011 (India/State/UT/District)	県
D-7: Migrants by place of last residence with duration 0-9 years reporting 'work/employment' as reason for migration by age, sex and educational level - 2011 (India/State/UT/District)	県
D-10: Migrants by place of last residence, age, sex, marital status for duration of residence 0-9 years - 2011 (India/State/UT/District)	県
D-11: Persons born and enumerated in Districts of the State - 2011 (District) (Total, SC/ST)	県
D-12: Migrants by place of last residence with duration of residence as 0-9 years and by age group - 2011 (India/State/UT)	州
D-13: Migrants by place of last residence with duration of residence as 0-9 years and by age group - 2011 (India/State/UT/District)	県

(資料) Government of India , Ministry of Home Affairs, Office of the Register General & Census Commissioner, India のホームページ中の Data on Migration 2011 (<http://censusindia.gov.in/2011census/migration.html>) より作成。

(注1) CDL 中の Tables から2011年国勢調査を選んでD-Seriesの一覧表にアクセスするという2001年と同様の手順をとると、D-1～D-12の表題が表示されたものの (<http://censusindia.gov.in/DigitalLibrary/TablesSeries2001.aspx>)、URLを確認する限りリンクの誤りと考えられた。Government of India , Ministry of Home Affairs, Office of the Register General & Census Commissioner, India のホームページのホーム内から Data on Migration 2011 (<http://censusindia.gov.in/2011census/migration.html>) にアクセスするとD-8、D-9を除くD-1～D-13の表題が表示され、D-13のデータ自体もダウンロード可能であった (<http://censusindia.gov.in/2011census/d-series/d-13.html>) ため、本表はこれを資料として利用した。

(注2) SCは指定カースト (Scheduled Caste)、STは指定部族 (Scheduled Tribe)、UTは直轄領 (Union Territory) の略。

の2区分の合計でみた移動人口の比率は2001年および2011年とも、NSSの職の決まった状態での移動の水準をも大きく下回ってしまう。国勢調査を利用して労働移動を考察する際に、仕事/被雇用、事業という2区分の理由による移動のみを対象を絞ることの妥当性は慎重に考える必要がある。表1に示したD-5表とD-6表の考察も含めて稿を改めて検討したい。

本論では暫定的な措置として、移動後の居住期間では10年未満の移動に限るものの移動の理由では対象を絞らず、男性のセンサス間移動を全て考察対象とする。なお女性の移動では、男性の移動と同様に労働関連の移動が過少評価されていると考えられるものの、8割程度が結婚と家族に帯同を移動理由として挙げているため本論では考察対象としない。

3 州内移動と州間移動の水準にみる州の特徴

州境を超えた州間移動は、同じ県内の移動、または県境を超えるが同じ州内の移動に比べて、単に移動距離が長くなるだけでなく、労働・生活環境や、移動先によっては言語の変化を伴う¹¹⁾。州内移動と州間移動では、移動する人々や移動流の性質に違いの生じている可能性がある。

男性の人口移動について州内移動と州間移動の規模を確認すると、表3に示す通り、現住地に移動して10年に満たないセンサス間の国内移動人口は2011年に4,696万人であり、そのうち3,654万人が州内移動、2,222万人が県内移動、州間移動は1,043万人であった。州内移動と県内移動は2001年にはそれぞれ72.9%と43.0%、2011年には76.9%と46.8%である。後述するように州毎の違いが大

表2 人口移動の移動理由別内訳

(a) 男性（2001年）

(人)

移動後の居住年数	合計	仕事/被雇用	事業	教育	結婚	出生後の移動	家族に帯同	その他
全期間	93,361,809	26,229,666 (28.1)	2,382,559 (2.6)	2,378,451 (2.5)	2,175,827 (2.3)	9,277,898 (9.9)	18,100,242 (19.4)	32,817,166 (35.2)
1年未満	4,173,469	1,600,343 (38.3)	83,163 (2.0)	245,818 (5.9)	27,298 (0.7)	366,555 (8.8)	1,142,476 (27.4)	707,816 (17.0)
1～4年	16,587,389	6,059,857 (36.5)	444,512 (2.7)	1,509,598 (9.1)	315,958 (1.9)	1,484,067 (8.9)	3,941,574 (23.8)	2,831,823 (17.1)
5～9年	12,136,128	4,713,133 (38.8)	422,570 (3.5)	283,259 (2.3)	336,596 (2.8)	1,578,051 (13.0)	3,178,093 (26.2)	1,624,426 (13.4)
10年未満	32,896,986	12,373,333 (37.6)	950,245 (2.9)	2,038,675 (6.2)	679,852 (2.1)	3,428,673 (10.4)	8,262,143 (25.1)	5,164,065 (15.7)

(b) 女性（2001年）

(人)

移動後の居住年数	合計	仕事/被雇用	事業	教育	結婚	出生後の移動	家族に帯同	その他
全期間	221,179,541	3,674,776 (1.7)	444,315 (0.2)	981,684 (0.4)	153,960,696 (69.6)	6,501,781 (2.9)	24,930,526 (11.3)	30,685,763 (13.9)
1年未満	4,712,255	504,553 (10.7)	25,661 (0.5)	120,093 (2.5)	1,375,878 (29.2)	334,835 (7.1)	1,649,889 (35.0)	701,346 (14.9)
1～4年	30,693,834	982,072 (3.2)	92,538 (0.3)	645,020 (2.1)	19,397,780 (63.2)	1,358,113 (4.4)	5,992,873 (19.5)	2,225,438 (7.3)
5～9年	29,998,267	586,266 (2.0)	67,928 (0.2)	111,401 (0.4)	21,647,401 (72.2)	1,455,759 (4.9)	4,703,200 (15.7)	1,426,312 (4.8)
10年未満	65,404,356	2,072,891 (3.2)	186,127 (0.3)	876,514 (1.3)	42,421,059 (64.9)	3,148,707 (4.8)	12,345,962 (18.9)	4,353,096 (6.7)

(c) 男性（2011年）

(人)

移動後の居住年数	合計	仕事/被雇用	事業	教育	結婚	出生後の移動	家族に帯同	その他
全期間	146,145,967	35,016,700 (24.0)	2,683,144 (1.8)	3,296,340 (2.3)	5,346,733 (3.7)	20,078,947 (13.7)	29,679,662 (20.3)	50,044,441 (34.2)
1年未満	7,805,017	2,555,561 (32.7)	106,789 (1.4)	482,001 (6.2)	105,451 (1.4)	846,985 (10.9)	2,009,228 (25.7)	1,699,002 (21.8)
1～4年	21,283,776	6,633,471 (31.2)	384,091 (1.8)	1,486,327 (7.0)	631,365 (3.0)	2,842,534 (13.4)	5,625,545 (26.4)	3,680,443 (17.3)
5～9年	18,425,569	5,730,536 (31.1)	409,456 (2.2)	358,115 (1.9)	677,820 (3.7)	2,963,886 (16.1)	5,130,563 (27.8)	3,155,193 (17.1)
10年未満	47,514,362	14,919,568 (31.4)	900,336 (1.9)	2,326,443 (4.9)	1,414,636 (3.0)	6,653,405 (14.0)	12,765,336 (26.9)	8,534,638 (18.0)

(d) 女性（2011年）

(人)

移動後の居住年数	合計	仕事/被雇用	事業	教育	結婚	出生後の移動	家族に帯同	その他
全期間	309,641,654	6,406,217 (2.1)	907,343 (0.3)	2,161,216 (0.7)	205,839,698 (66.5)	13,776,918 (4.4)	36,280,253 (11.7)	44,270,009 (14.3)
1年未満	9,781,027	664,083 (6.8)	38,560 (0.4)	355,753 (3.6)	3,686,866 (37.7)	776,333 (7.9)	2,786,116 (28.5)	1,473,316 (15.1)
1～4年	42,609,475	1,337,297 (3.1)	151,952 (0.4)	1,037,834 (2.4)	25,467,354 (59.8)	2,624,487 (6.2)	8,049,349 (18.9)	3,941,202 (9.2)
5～9年	42,003,406	1,020,405 (2.4)	133,575 (0.3)	216,976 (0.5)	27,687,025 (65.9)	2,706,747 (6.4)	6,956,478 (16.6)	3,282,200 (7.8)
10年未満	94,393,908	3,021,785 (3.2)	324,087 (0.3)	1,610,563 (1.7)	56,841,245 (60.2)	6,107,567 (6.5)	17,791,943 (18.8)	8,696,718 (9.2)

(資料) Census of India 2001 および Census of India 2001 の D Series D-3 表より各州の値を集計して作成。

(注) 括弧内はシェア、%。

きいものの、インドの人口移動は全体としてみると州内、なかでも県内移動が主体であり、両者の比率は2001年から2011年にかけてさらに高まった。

陳、勝又（2019, pp. 32-33）は、女性を含む人口全体のセンサス間移動について、1991年から2001年にかけて州間移動の比率が上昇し州内移動の比率が低下したことを指摘している。1991年の

センサス間移動を男性について確認すると、人口移動全体のうち国内移動が97.3%、州内移動が85.8%、州間移動が11.5%であった。男性のみのセンサス間移動については、州内移動の比率が人口全体と同様に2001年に一旦低下したものの、その後2011年には上昇に転じたことになる。

男性の州内移動と州間移動について、移動人口

表3 人口移動の内訳（男性のみ）

(a) 2001年

前住地	全期間		1年未満		1～4年		5～9年		10年未満	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
合計	93,361,809	100.0	4,173,469	100.0	16,587,389	100.0	12,136,128	100.0	32,896,986	100.0
国内	90,677,712	97.1	4,121,729	98.8	16,413,231	99.0	11,975,484	98.7	32,510,444	98.8
州内	71,579,630	76.7	2,979,450	71.4	12,159,989	73.3	8,858,844	73.0	23,998,283	72.9
県内	47,337,924	50.7	1,709,153	41.0	7,264,952	43.8	5,173,834	42.6	14,147,939	43.0
県外	24,241,706	26.0	1,270,297	30.4	4,895,037	29.5	3,685,010	30.4	9,850,344	29.9
州間	19,098,082	20.5	1,142,279	27.4	4,253,242	25.6	3,116,640	25.7	8,512,161	25.9

(b) 2011年

前住地	全期間		1年未満		1～4年		5～9年		10年未満	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
合計	146,145,967	100.0	7,805,017	100.0	21,283,776	100.0	18,425,569	100.0	47,514,362	100.0
国内	143,467,652	98.2	7,676,760	98.4	21,044,225	98.9	18,239,698	99.0	46,960,683	98.8
州内	119,597,840	81.8	5,701,934	73.1	16,338,739	76.8	14,494,662	78.7	36,535,335	76.9
県内	82,948,766	56.8	3,465,174	44.4	9,857,660	46.3	8,899,840	48.3	22,222,674	46.8
県外	36,649,074	25.1	2,236,760	28.7	6,481,079	30.5	5,594,822	30.4	14,312,661	30.1
州間	23,869,812	16.3	1,974,826	25.3	4,705,486	22.1	3,745,036	20.3	10,425,348	21.9

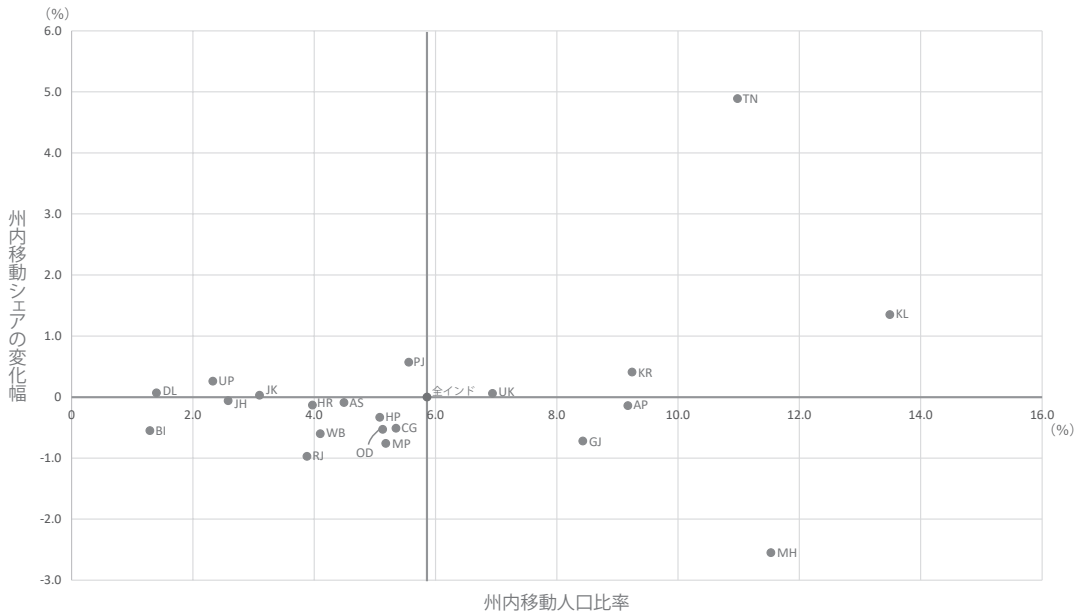
(資料) Census of India 2001 および Census of India 2001 の D Series D-2 表より作成。

の人数と男性人口に対する比率を付表1および付表3、州別の構成比を付表2および付表4として後掲した。ここではそれらのデータを用いて作成した図を示しつつ、州内移動と州間移動の関係からみた州レベルの特徴と論点を整理する。なお、州間移動の州別データは、前住地州毎の集計値であり当該州からの流出を示す。

インドの人口移動は全体としては州内移動が主体であると既述したが、州内移動の活発さは州間の差異が大きい。図1は、2011年の各州の州内移動人口比率（センサス間の州内移動人数を州内男性人口で除した比率）を横軸に、州内人口移動全体における各州シェアの2001年から2011年への変化幅を縦軸にとった散布図である。縦軸の変化幅の値は、州内移動の増加率が全国平均を上回った州については正、下回った州については負の値になり、すべての州の変化幅を合計するとゼロになる。散布図中の各点は州および直轄領を示し、点の右側に示したアルファベット2文字は州および直轄領名の略称である。

まず注目されるのは、タミル・ナードゥ州で州内移動が際立って増えたことである。州内移動全体に占めるタミル・ナードゥ州のシェアは、2001年から2011年にかけて5%ポイント近く上昇した。

柳澤は同州における下層民の自立と非農業就業の増大の動向について詳述しており（宇佐美、柳澤、押川、2015, pp. 94-105）、そうした動向が州内移動の増加につながったものと考えられる。南部4州のうちタミル・ナードゥ州以外のアンドラ・プラデシュ州、カルナータカ州、ケーララ州も人口比でみて州内移動が活発であり、横軸については全インド平均より大きく右方にプロットされる。とはいえ、ケーララ州ととりわけタミル・ナードゥ州で州内移動が引き続き全国平均以上に増加しているのに対し、アンドラ・プラデシュ州、カルナータカ州では州内移動の伸びは全国平均程度の増加にとどまった。また、マハーラーシュトラ州、アンドラ・プラデシュ州、グジャラート州は、2001年には州内移動人口比率が最も高かった3州であったが、2011年までの州内移動人数の伸びは全国平均を下回っており、とりわけマハーラーシュトラ州について州内移動の鈍化が著しい。南部4州およびマハーラーシュトラ州とグジャラート州は、インドの中でも一人当たり州内所得の高い諸州である。州内移動人口比率に関し、一旦上昇した後に鈍化する傾向が経済成長の過程で一般的にみられるのか、みられるとしたら鈍化に転じるまでに州内移動がどの程度深化するかを規定する



凡例

JK ジャンムー・カシュミール州	HP ヒマーチャル・プラデシュ州	PJ バンジャール州
UK ウッタラカンド州	HR ハリヤナ州	DL デリー直轄領
RJ ラージヤスターン州	UP ウットル・プラデシュ州	BI ビハール州
SK シッキム州	AR アルナチャル・プラデシュ州	NL ナガランド州
MN マニプル州	MZ ミゾラム州	TR トリプラ州
MG メガラヤ州	AS アッサム州	WB 西ベンガル州
JH ジャールカンド州	OD オディッシャ州	CG チャティスガル州
MP マディヤ・プラデシュ州	GJ グジャラート州	MH マハーラーシュトラ州
AP アンドラ・プラデシュ州	KR カルナータカ州	GA ゴア州
KL ケーララ州	TN タミル・ナードゥ州	

図1 州内移動人口比率の水準と変化（2011年、男性のみ）

（資料）表3に同じ。

要因は何かなど、今後の検討課題としたい。

図2は、州間移動について図1と同様に図示したものである。人口比率でみて高い水準の州外への移動が生じている諸州の中でも、人口規模が第1位のウットル・プラデシュ州は約2億人、第3位のビハール州は約1億人の人口を抱えており、2001年から2011年にかけても全国平均を上回るペースで州外への移動を拡大している。ウットル・プラデシュ州とビハール州は、州内移動が低位にとどまったまま、州外への大規模な労働力の

供給元としての性質を強めている。

州内移動人口比率が水準としては高いとはいえ伸びの鈍化したマハーラーシュトラ州、アンドラ・プラデシュ州とグジャラート州からは、州間移動の水準は全インド平均よりも低いものの、2001年に比べて2011年には州外への流出が活発化したことが注目される。

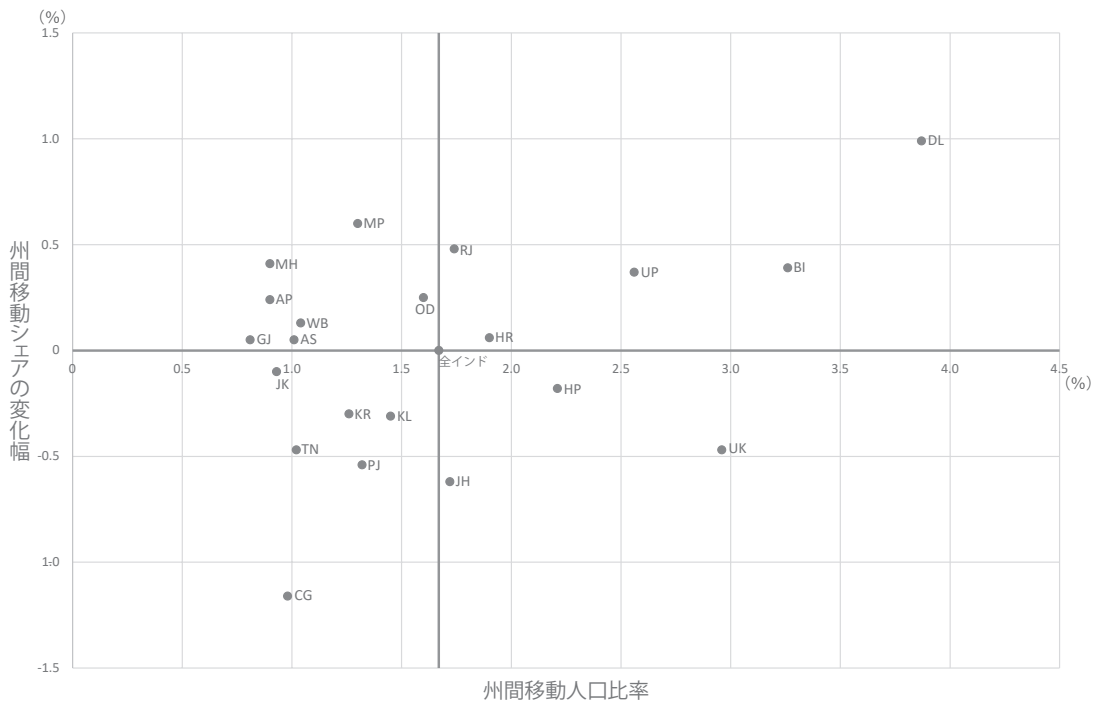


図2 州間移動人口比率の水準と変化（2011年、男性のみ）

（資料）表3に同じ。

（注）凡例は図1に同じ。

4 州間移動の移動元・移動先にみる州の特徴

州間移動の移動元および移動先は、女性を含む人口全体の州間移動について佐藤（1994, p.99）と陳、勝又（2019, p.33）が、それぞれ1971年と1981年、1991年と2001年の国勢調査を用いて指摘したように、特定の州に集中している。男性のセンサス間移動について図3で確認すると、流入の顕著なのはマハーラーシュトラ州、グジャラート州、およびデリー直轄領である。マハーラーシュトラ州については、2011年の州内移動673万人に対し州外からの流入は213万人に達している。図3中では、デリー直轄領への流入の2001年から2011年への変化としてビハール州からの流入増加を確認できるのみであるが、県レベルでみるとビハール州およびウッタル・プラデシュ州からハリヤナ州内のデリー直轄領と隣接する県、ビハール州からウッタル・プラデシュ州内のデリー直轄領

と隣接する県への移動が増加している。近隣州の一部県を含むデリー首都圏に対する、ビハール州およびウッタル・プラデシュ州からの労働供給が強化されている。ビハール州からは、マハーラーシュトラ州、グジャラート州へも移動増加が顕著であり、移動先が多様化している。

また図3中では2011年に新たに、西ベンガル州からマハーラーシュトラ州への人口移動流が確認できる。西ベンガル州は伝統的に高等教育の進んだ地域として知られており、文科系大卒者が州内のカルカッタに移動する傾向があったという（佐藤，1994，pp.106-107）。図1中で西ベンガル州の州内移動が2011年にさらに鈍化していることと併せて考えると、カルカッタおよび西ベンガル州の経済停滞に伴い、文科系大卒者が州内で移動するのではなく州外に流出する傾向が強まった可能性がある。

図4は、横軸に州内移動の人口比率、縦軸に州間移動の人口比率をとった散布図である。人口流

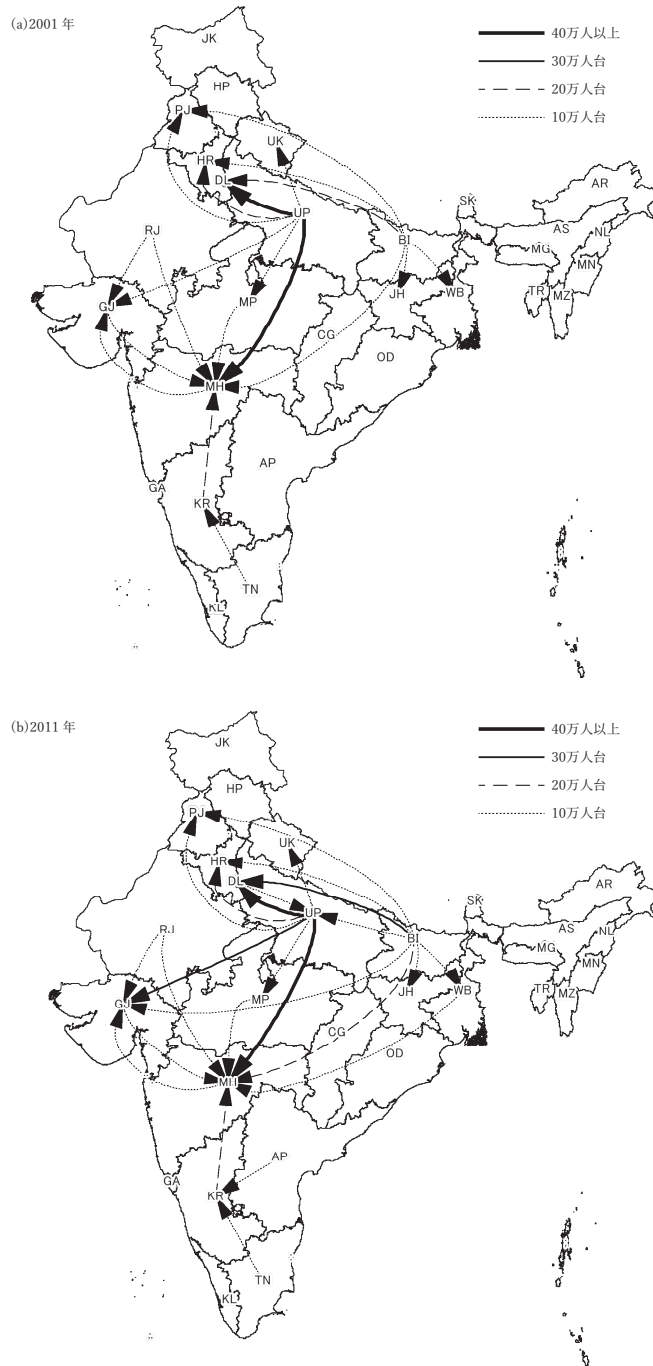


図3 州間移動（センサス間移動、男性のみ）

（資料）表3に同じ。

（注1）州および直轄領名は、図1中の凡例として示した略称で表記。

（注2）ウッタラカンド州は2006年にウッタランチャル州から州名変更された。ここでは、新旧州名ともUKという略称で表記。

入の顕著な州として指摘したマハーラーシュトラ州とグジャラート州は、水準としては、州内移動が活発で州外への人口流出が不活発である。州内の人的資源を効率的に利用し、さらに州外からの人的資源を活用したことが、高い一人当たり州内所得に貢献してきたと示唆される。しかし先述の通り、2011年になるとこれらの州で新たな変化が生じており、州内移動が鈍化する一方、州外への移動が全国平均を上回って増加した。他方、人口流出の顕著な州として指摘したウッタル・プラデシュ州とビハール州は、図4で第2象限中の左上方にプロットされるように、水準でみて州内移動が不活発で州外への人口流出が活発な州であるだけでなく、前節でみたように、2011年までのセンサス間変化でも、さらにその傾向が強まっている。州外からの流入は流出した人口の還流で占められているとみられ、両州は一人当たり州内所得でみて最下位の2州である。

5 おわりに

本稿では、インドの国内労働移動分析に向けて、

人口移動に関する基本的な統計である国勢調査 D-series の中でも 2 つの表を用い、データおよび州レベルでみた移動の特徴を概観した。データについては、移動理由によって人口移動の中から労働移動を抽出することは妥当でないことが改めて認識された。D-series の中でも移動した人々の雇用形態や経済活動に関する諸表を用いて、引き続き労働移動の把握に努めたい。

州レベルの特徴としては、インドの主要州は、州内移動と州間移動の特徴によって、州内移動と州間移動の流入が活発で流出が拡大し始めたマハーラーシュトラ州、グジャラート州という西部先進州、州内移動が活発で州間移動は一部を除くと不活発かつ移動先が限定的である南部先進州、州内移動が不活発で州間移動としては流出が大規模かつ多方向に起こっているウッタル・プラデシュ州とビハール州という北部貧困州に大別できる。州間移動については、移動元と移動先が特定の州に集中し、かつ新たな移動流が生じているものの移動流の多くが長期にわたって固定的に持続しているため、人口移動が移動する個人・世帯だけでなく移動元および移動先の労働市場や地域経済に

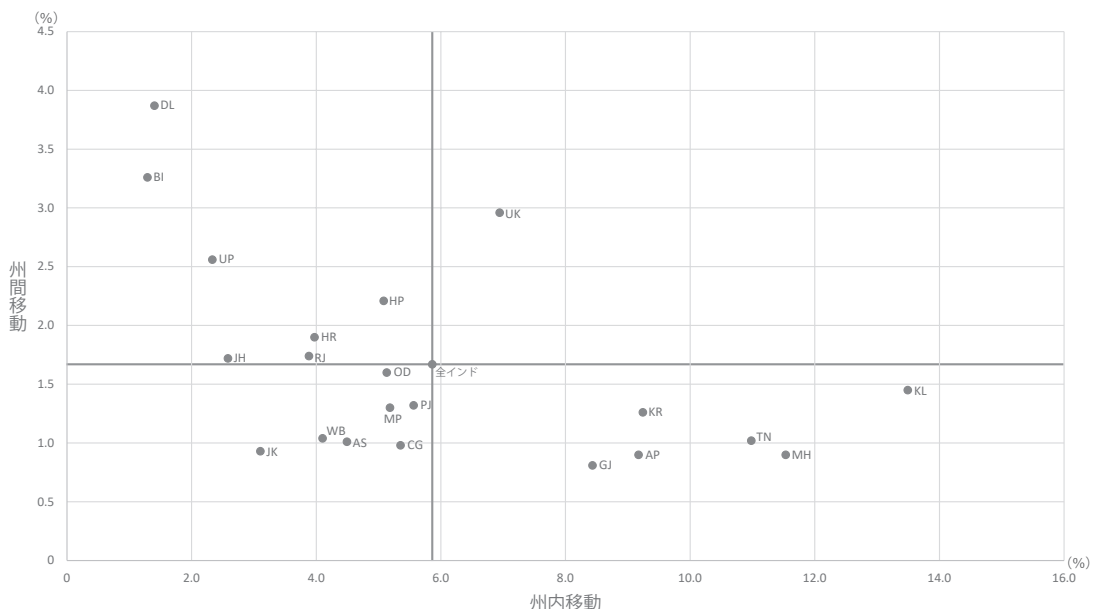


図4 州内移動と州間移動の人口比率（2011年）

（資料）表3に同じ。

（注）凡例は図1に同じ。

与える影響は大きい。労働移動の要因や地域経済に与える影響を考えるためには、移動する人々の属性を把握する必要がある。本稿に続き、移動者のより詳細な属性を整理したい。また本稿では当初、州レベルの特徴として移動の規模と方向に考察の主眼をおいたが、大規模な州内移動が生じた後に州間移動が拡大する場合と州内移動が不活発な中で州間移動が拡大する場合、州間移動が広範囲に生じる場合と一定の地域内にとどまる場合という、移動の順序や範囲に関する特徴が顕著であるという知見が得られた。移動の規模だけでなく順序や範囲と経済成長との関係を今後の考察課題としたい。

注

- 1) 例えば、後述する今回利用した D-2 表は D-Series の中でも小さい表とはいえ、2001 年、2011 年とも 18,041 行 × 28 列、D-3 表は 2001 年が 1,880 行 × 32 列、2011 年が 67,505 行 × 32 列である。
- 2) https://censusindia.gov.in/DigitalLibrary/Archive_home.aspx
- 3) 鉦塚 (2017) は、インド国勢調査の概要とデータの入手方法、さらに国勢調査の各集計シリーズの中でも経済的属性に関する B-Series について詳細に解説しており、国勢調査の体系的な利用の基盤を提供している。
- 4) Government of India, Ministry of Finance, Department of Economic Affairs, Economic Division (2017) などの政府による分析には D-Series のデータが部分的に用いられていたものの、CDL における D-Series 公表までにはその後 2 年以上のタイムラグがあった。
- 5) 実施回と各回の質問項目は、CDL 内の 2011 Census Data 中の Questionnaire for Census < http://censusindia.gov.in/Data_Products/Library/Indian_perceptive_link/Census_Questionnaires_link/questions.htm > で確認できる。
- 6) 2011 年国勢調査の調査票のうち世帯票 (Household Schedule) 中、Migration characteristics の Q. 24 (b) が該当する質問項目であり、そこでは at the time of migration として Rural/Urban のいずれかが選ばれる。回答者の記憶に頼った、誤回答を排除しにくい質問であろう。
- 7) 2001 年と 2011 年の間では州・直轄領に変更はなかったが、2000 年にマディア・プラデシュ州からチャティスガル州、およびビハール州からジャールカンド州が分離して新しい州となり、2014 年にはアンドラ・プラデシュ州からテランガーナ州が分離して新しい州となったなど、インドでは州の変更が近年でも生じている。なお、ウッタランチャル州は 2006 年にウッタラカンド州に州名変更された。
- 8) ただし 2001 年調査では、出生地が都市部/農村部のいずれであったかのデータは収集されなかった。
- 9) 本稿で用いた両表のデータは、2020 年 1 月下旬までにダウンロードしたものである。確認した限りでは少なくとも 2020 年 1 月下旬から 2 月末まで CDL 中で両表は再び未公開となり、3 月になって改めて公開された。1 月下旬まで CDL 内でダウンロード可能であったデータと、一旦公開停止後に再びダウンロード可能となったデータとの間で修正がなされたかは、本稿執筆時点で未確認である。
- 10) 移動についての質問は、国勢調査質問票のうち世帯票 (Household Schedule) Side-B 中に表記される Migration characteristics に記載されている。出生地基準の移動に関しては Q.23 で出生地が尋ねられるのみであり、出生地基準の移動結果に関する D-1 表中では、都市部、農村部、全体の内訳、および男女の性別の内訳が示されるのみである。ただし 2001 年調査については注 8 も参照。前住地基準の移動については Q.24 (a), (b) で前住地が尋ねられ、Q.25 で移動理由、Q.26 で居住期間が調査されている。
- 11) ただし、「社会領域としての言語領域が州境を超えることも通例であるから、一見遠距離移動のようにみえる州間 RR 移動は実質的には隣接地への、きわめて近距離の移動をかなり含んでいるとみるべきなのである」(佐藤, 1994, p.95) との指摘に留意する必要がある。ここで RR 移動とは、農村から農村への移動。

参考文献

- Government of India, Ministry of Finance, Department of Economic Affairs, Economic Division. (2017). India on the Move and Churning: New Evidence. In Government of India, *Economic Survey 2016-17 Vol. I* (pp. 265-284).
- Kundu, A. (1986). Migration, Urbanisation and Inter-regional Inequality: The Emerging Socio-Political Challenge. *Economic and Political Weekly*, XXI(46), 2005-2008.
- Munshi, K. and M. Rosenzweig. (2016). Networks and Misallocation: Insurance, Migration, and the Rural-Urban Wage Gap. *American Economic Review*, 106 (1), 46-98. Retrieved from <https://www.jstor.org/stable/43821397>
- National Sample Survey Office. (2010). *Migration in India 2007-2008, NSS 64th Round (July 2007-June 2008)*. NSS Report No. 533. Retrieved from http://mospi.nic.in/sites/default/files/publication_reports/533_final.pdf
- Office of the Register General & Census Commissioner, India, Ministry of Home Affairs, Government of India. (n.d.). *Data on Migration 2011*. Retrieved from Office

- of the Register General & Census Commissioner, India, Ministry of Home Affairs, Government of India: <http://censusindia.gov.in/2011census/migration.html>
- Office of the Registrar General and Census Commissioner, Ministry of Home Affairs, Government of India. (n.d.). *D-2: Migrants classified by place of last residence, sex and duration of residence in place of enumeration, Census of India 2011*. Retrieved January 31, 2020, from Census Digital Library (Beta Version), Census of India Website: <http://censusindia.gov.in/2011census/d-series/d-2.html>
- Office of the Registrar General and Census Commissioner, Ministry of Home Affairs, Government of India. (n. d.). *D-3: Migrants by place of last residence, duration of residence and reasons for migration, Census of India 2011*. Retrieved January 31, 2020, from Census Digital Library (Beta Version), Census of India Website: <http://censusindia.gov.in/2011census/d-series/d-3.html>
- Office of the Registrar General and Census Commissioner, Ministry of Home Affairs, Government of India. (n. d.). *Drop-in-Article on Census - No. 8 Migration*. Retrieved January 31, 2020, from Office of the Registrar General and Census Commissioner, Ministry of Home Affairs, Government of India: http://censusindia.gov.in/Ad_Campaign/drop_in_articles/08-Migration.pdf
- Srivastava, R. (1998). Migration and the labour market in India. *Indian Journal of Labour Economics*, 41 (4), 583-616.
- Tilak, S. and K. Maity. (2018). On Labour Migration in India: Trends, Causes and Impacts. *Economic Affairs*, 63(1), 57-69.
- Young, A. (2013). Inequality, The Urban-Rural Gap and Migration. *The Quarterly Journal of Economics*, 128 (4). Retrieved from <https://www.jstor.org/stable/10.2307/26372536>
- 宇佐美好文, 柳澤悠 (2015) 「農村から都市へ」水島司, 柳澤悠編『現代インド2 溶融する都市・農村』(pp. 217-254) 東京大学出版会.
- 宇佐美好文, 柳澤悠, 押川文子 (2015) 「農村発展の類型論」水島司, 柳澤悠編『現代インド2 溶融する都市・農村』(pp. 79-124) 東京大学出版会.
- 鍛塚賢太郎 (2017) 「インド国勢調査を用いた空間分析に向けて(1)ー経済的属性に関する集計シリーズ (B Series) の特徴ー」『龍谷大学経営学論集』56 (4), 39-53.
- 鍛塚賢太郎 (2019) 「インドにおける産業の地域特化と多様性ー2011年国勢調査ディストリクト別就業者データを用いた分析ー」『龍谷大学社会科学研究年報』49, 155-171.
- 佐藤宏 (1994) 『インド経済の地域分析』古今書院.
- 陳林, 勝又悠太郎 (2019) 「インドにおける州間人口移動の空間特性ー1991年と2001年の人口センサスデータによる分析ー」『広島大学現代インド研究ー空間と社会ー』9, 29-45.

ウェブサイト

Census Digital Library (Beta Version), Government of India, Ministry of Home Affairs, Office of the Register General & Census Commissioner, India. (https://censusindia.gov.in/DigitalLibrary/Archive_home.aspx)

付表 1 州内移動の人数と人口比率

(a) 2001年

州名	男性人口 (人)	全期間		1 年未満		1 ～ 4 年		5 ～ 9 年		10 年未満	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
全インド	532,223,090	71,579,630	(13.45)	2,979,450	(0.56)	12,159,989	(2.28)	8,858,844	(1.66)	23,998,283	(4.51)
ジャンムー・カシュミール	5,360,926	574,865	(10.72)	22,960	(0.43)	72,841	(1.36)	34,279	(0.64)	130,080	(2.43)
ヒマチャル・プラデシュ	3,087,940	375,917	(12.17)	25,958	(0.84)	112,983	(3.66)	55,831	(1.81)	194,772	(6.31)
パンジャブ	12,985,045	1,959,694	(15.09)	41,088	(0.32)	183,564	(1.41)	173,026	(1.33)	397,678	(3.06)
チャンディール	506,938	7,890	(1.56)	154	(0.03)	855	(0.17)	751	(0.15)	1,760	(0.35)
ウッタラカンド	4,325,924	570,231	(13.18)	28,457	(0.66)	115,995	(2.68)	76,632	(1.77)	221,084	(5.11)
ハリヤナ	11,363,953	921,762	(8.11)	50,785	(0.45)	194,197	(1.71)	138,727	(1.22)	383,709	(3.38)
デリー	7,607,234	206,515	(2.71)	8,849	(0.12)	32,189	(0.42)	23,515	(0.31)	64,553	(0.85)
ラージャスターン	29,420,011	2,633,679	(8.95)	190,690	(0.65)	578,255	(1.97)	370,658	(1.26)	1,139,603	(3.87)
ウッタル・プラデシュ	87,565,369	6,434,288	(7.35)	140,631	(0.16)	873,293	(1.00)	522,964	(0.60)	1,536,888	(1.76)
ビハール	43,243,795	2,005,646	(4.64)	70,260	(0.16)	327,646	(0.76)	192,818	(0.45)	590,724	(1.37)
シッキム	288,484	53,828	(18.66)	4,318	(1.50)	10,839	(3.76)	7,207	(2.50)	22,364	(7.75)
アルナチャル・プラデシュ	579,941	124,505	(21.47)	6,479	(1.12)	34,714	(5.99)	22,096	(3.81)	63,289	(10.91)
ナガランド	1,047,141	156,365	(14.93)	1,669	(0.16)	13,642	(1.30)	12,902	(1.23)	28,213	(2.69)
マニプル	1,095,634	146,549	(13.38)	1,434	(0.13)	9,677	(0.88)	8,820	(0.81)	19,931	(1.82)
ミゾラム	459,109	110,646	(24.10)	4,242	(0.92)	22,319	(4.86)	15,673	(3.41)	42,234	(9.20)
トリプーラ	1,642,225	238,433	(14.52)	9,902	(0.60)	32,724	(1.99)	20,686	(1.26)	63,312	(3.86)
メガラヤ	1,176,087	152,804	(12.99)	2,331	(0.20)	10,735	(0.91)	8,906	(0.76)	21,972	(1.87)
アッサム	13,777,037	2,354,314	(17.09)	41,610	(0.30)	238,109	(1.73)	211,478	(1.54)	491,197	(3.57)
西ベンガル	41,465,985	4,913,833	(11.85)	151,185	(0.36)	670,758	(1.62)	584,422	(1.41)	1,406,365	(3.39)
ジャールカンド	13,885,037	883,484	(6.36)	36,026	(0.26)	162,835	(1.17)	102,653	(0.74)	301,514	(2.17)
オディッシャ	18,660,570	2,190,471	(11.74)	100,503	(0.54)	442,466	(2.37)	299,995	(1.61)	842,964	(4.52)
チャティスガル	10,474,218	1,359,944	(12.98)	91,375	(0.87)	283,674	(2.71)	197,994	(1.89)	573,043	(5.47)
マディヤ・プラデシュ	31,443,652	3,420,398	(10.88)	227,774	(0.72)	706,224	(2.25)	530,258	(1.69)	1,464,256	(4.66)
グジャラート	26,385,577	5,398,913	(20.46)	225,730	(0.86)	955,007	(3.62)	734,148	(2.78)	1,914,885	(7.26)
ダマン・ディウ	92,512	3,467	(3.75)	283	(0.31)	578	(0.62)	390	(0.42)	1,251	(1.35)
ダドラ・ナガルハヴェリ	121,666	4,328	(3.56)	426	(0.35)	908	(0.75)	261	(0.21)	1,595	(1.31)
マハーラーシュトラ	50,400,596	12,486,174	(24.77)	774,493	(1.54)	2,391,277	(4.74)	1,863,558	(3.70)	5,029,328	(9.98)
アンドラ・プラデシュ	38,527,413	7,425,599	(19.27)	277,503	(0.72)	1,378,501	(3.58)	937,207	(2.43)	2,593,211	(6.73)
カルナータカ	26,898,918	4,719,012	(17.54)	164,588	(0.61)	963,044	(3.58)	657,340	(2.44)	1,784,972	(6.64)
ゴア	687,248	225,020	(32.74)	10,427	(1.52)	33,090	(4.81)	30,321	(4.41)	73,838	(10.74)
ラクシャドウィープ	31,131	7,183	(23.07)	1,284	(4.12)	3,414	(10.97)	996	(3.20)	5,694	(18.29)
ケーララ	15,468,614	3,115,862	(20.14)	124,737	(0.81)	515,185	(3.33)	456,529	(2.95)	1,096,451	(7.09)
タミル・ナードゥ	31,400,909	6,253,809	(19.92)	131,650	(0.42)	756,859	(2.41)	543,073	(1.73)	1,431,582	(4.56)
ボンディシェリ	486,961	99,911	(20.52)	5,802	(1.19)	19,813	(4.07)	15,720	(3.23)	41,335	(8.49)
アンダマン・ニコバル諸島	192,972	44,291	(22.95)	3,847	(1.99)	11,779	(6.10)	7,010	(3.63)	22,636	(11.73)

(b) 2011年

州名	男性人口 (人)	全期間		1年未満		1～4年		5～9年		10年未満	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
全インド	623,724,248	119,597,840	(19.17)	5,701,934	(0.91)	16,338,739	(2.62)	14,494,662	(2.32)	36,535,335	(5.86)
ジャンムー・カシュミール	6,665,561	749,064	(11.24)	53,735	(0.81)	83,963	(1.26)	69,217	(1.04)	206,915	(3.10)
ヒマチャル・プラデシュ	3,473,892	441,224	(12.70)	32,273	(0.93)	81,738	(2.35)	62,636	(1.80)	176,647	(5.08)
パンジャブ	14,634,819	3,816,899	(26.08)	124,236	(0.85)	335,696	(2.29)	354,012	(2.42)	813,944	(5.56)
チャンディールガル	580,282	17,232	(2.97)	263	(0.05)	862	(0.15)	865	(0.15)	1,990	(0.34)
ウッタラカンド	5,154,178	885,963	(17.19)	59,793	(1.16)	163,541	(3.17)	134,356	(2.61)	357,690	(6.94)
ハリヤナ	13,505,130	1,721,767	(12.75)	76,694	(0.57)	230,306	(1.71)	228,725	(1.69)	535,725	(3.97)
デリー	8,976,410	330,880	(3.69)	18,513	(0.21)	49,717	(0.55)	57,610	(0.64)	125,840	(1.40)
ラージャスターン	35,620,086	3,733,894	(10.48)	267,620	(0.75)	578,015	(1.62)	535,466	(1.50)	1,381,101	(3.88)
ウッタル・プラデシュ	104,596,415	10,003,327	(9.56)	415,304	(0.40)	1,024,537	(0.98)	993,879	(0.95)	2,433,720	(2.33)
ビハール	54,185,347	3,629,108	(6.70)	108,774	(0.20)	287,686	(0.53)	302,536	(0.56)	698,996	(1.29)
シッキム	321,661	68,065	(21.16)	4,376	(1.36)	11,612	(3.61)	9,558	(2.97)	25,546	(7.94)
アルナチャル・プラデシュ	720,232	218,851	(30.39)	10,517	(1.46)	43,665	(6.06)	32,941	(4.57)	87,123	(12.10)
ナガランド	1,025,707	215,664	(21.03)	17,475	(1.70)	44,916	(4.38)	36,615	(3.57)	99,006	(9.65)
マニプル	1,369,764	230,702	(16.84)	7,251	(0.53)	24,599	(1.80)	25,252	(1.84)	57,102	(4.17)
ミゾラム	552,339	162,029	(29.34)	6,215	(1.13)	24,532	(4.44)	20,498	(3.71)	51,245	(9.28)
トリプーラ	1,871,867	334,736	(17.88)	11,328	(0.61)	31,686	(1.69)	36,060	(1.93)	79,074	(4.22)
メガラヤ	1,492,668	348,791	(23.37)	11,745	(0.79)	41,090	(2.75)	37,309	(2.50)	90,144	(6.04)
アッサム	15,954,927	3,381,647	(21.20)	95,296	(0.60)	301,794	(1.89)	318,646	(2.00)	715,736	(4.49)
西ベンガル	46,927,389	8,124,212	(17.31)	269,620	(0.57)	812,251	(1.73)	840,760	(1.79)	1,922,631	(4.10)
ジャールカンド	16,931,688	1,228,223	(7.25)	62,239	(0.37)	197,628	(1.17)	176,849	(1.04)	436,716	(2.58)
オディッシャ	21,201,678	3,858,950	(18.20)	179,766	(0.85)	528,379	(2.49)	379,703	(1.79)	1,087,848	(5.13)
チャティスガル	12,827,915	1,753,776	(13.67)	125,859	(0.98)	315,048	(2.46)	245,256	(1.91)	686,163	(5.35)
マディヤ・プラデシュ	37,612,920	5,504,984	(14.64)	331,664	(0.88)	852,916	(2.27)	765,111	(2.03)	1,949,691	(5.18)
グジャラート	31,482,282	7,698,366	(24.45)	402,320	(1.28)	1,181,594	(3.75)	1,069,026	(3.40)	2,652,940	(8.43)
ダマン・ディウ	150,100	10,974	(7.31)	1,124	(0.75)	2,230	(1.49)	1,490	(0.99)	4,844	(3.23)
ダドラ・ナガルハヴェリ	193,178	18,152	(9.40)	1,826	(0.95)	4,528	(2.34)	1,883	(0.97)	8,237	(4.26)
マハーラーシュトラ	58,361,397	19,108,774	(32.74)	1,166,652	(2.00)	2,987,749	(5.12)	2,572,763	(4.41)	6,727,164	(11.53)
アンドラ・プラデシュ	42,509,881	13,920,964	(32.75)	510,463	(1.20)	1,834,460	(4.32)	1,554,783	(3.66)	3,899,706	(9.17)
カルナータカ	31,057,742	8,647,768	(27.84)	432,983	(1.39)	1,329,725	(4.28)	1,106,183	(3.56)	2,868,891	(9.24)
ゴア	740,711	387,225	(52.28)	19,263	(2.60)	49,774	(6.72)	50,545	(6.82)	119,582	(16.14)
ラクシャドウィープ	33,106	7,399	(22.35)	1,435	(4.33)	2,884	(8.71)	1,154	(3.49)	5,473	(16.53)
ケーララ	16,021,290	6,877,380	(42.93)	303,184	(1.89)	959,912	(5.99)	898,491	(5.61)	2,161,587	(13.49)
タミル・ナドゥ	36,158,871	11,916,902	(32.96)	556,749	(1.54)	1,875,644	(5.19)	1,536,595	(4.25)	3,968,988	(10.98)
ボンディシェリ	610,485	180,232	(29.52)	8,863	(1.45)	29,113	(4.77)	26,879	(4.40)	64,855	(10.62)
アンドマン・ニコバル諸島	202,330	63,716	(31.49)	6,516	(3.22)	14,949	(7.39)	11,010	(5.44)	32,475	(16.05)

(資料) Census of India 2001 および Census of India 2001 より、男性人口は A-1 表、移動人口は D-2 表を用いて算出。

付表2 州内移動の構成比（州別）

(%)

州名	2001年					2011年					構成比の変化幅				
	全期間	1年未満	1～4年	5～9年	10年未満	全期間	1年未満	1～4年	5～9年	10年未満	全期間	1年未満	1～4年	5～9年	10年未満
全インド	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ジャンムー・カシュミール	0.80	0.77	0.60	0.39	0.54	0.60	0.94	0.51	0.48	0.57	▲0.20	0.17	▲0.09	0.09	0.03
ヒマチャル・プラデシュ	0.53	0.87	0.93	0.63	0.81	0.40	0.57	0.50	0.43	0.48	▲0.13	▲0.30	▲0.43	▲0.20	▲0.33
パンジャブ	2.74	1.38	1.51	1.95	1.66	3.20	2.18	2.05	2.44	2.23	0.46	0.80	0.54	0.49	0.57
チャンディーガル	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	▲0.01	▲0.01	0.00	0.00	0.00
ウッタラカンド	0.80	0.96	0.95	0.87	0.92	0.70	1.05	1.00	0.93	0.98	▲0.10	0.09	0.05	0.06	0.06
ハリヤナ	1.29	1.70	1.60	1.57	1.60	1.40	1.35	1.41	1.58	1.47	0.11	▲0.35	▲0.19	0.01	▲0.13
デリー	0.29	0.30	0.26	0.27	0.27	0.30	0.32	0.30	0.40	0.34	0.01	0.02	0.04	0.13	0.07
ラージャスターン	3.68	6.40	4.76	4.18	4.75	3.10	4.69	3.54	3.69	3.78	▲0.58	▲1.71	▲1.22	▲0.49	▲0.97
ウッタル・プラデシュ	8.99	4.72	7.18	5.90	6.40	8.40	7.28	6.27	6.86	6.66	▲0.59	2.56	▲0.91	0.96	0.26
ビハール	2.80	2.36	2.69	2.18	2.46	3.00	1.91	1.76	2.09	1.91	0.20	▲0.45	▲0.93	▲0.09	▲0.55
シッキム	0.08	0.14	0.09	0.08	0.09	0.10	0.08	0.07	0.07	0.07	0.02	▲0.06	▲0.02	▲0.01	▲0.02
アルナチャル・プラデシュ	0.17	0.22	0.29	0.25	0.26	0.20	0.18	0.27	0.23	0.24	0.03	▲0.04	▲0.02	▲0.02	▲0.02
ナガランド	0.22	0.06	0.11	0.15	0.12	0.20	0.31	0.27	0.25	0.27	▲0.02	0.25	0.16	0.10	0.15
マニプル	0.20	0.05	0.08	0.10	0.08	0.20	0.13	0.15	0.17	0.16	0.00	0.08	0.07	0.07	0.08
ミゾラム	0.15	0.14	0.18	0.18	0.18	0.10	0.11	0.15	0.14	0.14	▲0.05	▲0.03	▲0.03	▲0.04	▲0.04
トリプーラ	0.33	0.33	0.27	0.23	0.26	0.30	0.20	0.19	0.25	0.22	▲0.03	▲0.13	▲0.08	0.02	▲0.04
メガラヤ	0.21	0.08	0.09	0.10	0.09	0.30	0.21	0.25	0.26	0.25	0.09	0.13	0.16	0.16	0.16
アッサム	3.29	1.40	1.96	2.39	2.05	2.80	1.67	1.85	2.20	1.96	▲0.49	0.27	▲0.11	▲0.19	▲0.09
西ベンガル	6.86	5.07	5.52	6.60	5.86	6.80	4.73	4.97	5.80	5.26	▲0.06	▲0.34	▲0.55	▲0.80	▲0.60
ジャールカンド	1.23	1.21	1.34	1.16	1.26	1.00	1.09	1.21	1.22	1.20	▲0.23	▲0.12	▲0.13	0.06	▲0.06
オディッシャ	3.06	3.37	3.64	3.39	3.51	3.20	3.15	3.23	2.62	2.98	0.14	▲0.22	▲0.41	▲0.77	▲0.53
チャティスガル	1.90	3.07	2.33	2.23	2.39	1.50	2.21	1.93	1.69	1.88	▲0.40	▲0.86	▲0.40	▲0.54	▲0.51
マディヤ・プラデシュ	4.78	7.64	5.81	5.99	6.10	4.60	5.82	5.22	5.28	5.34	▲0.18	▲1.82	▲0.59	▲0.71	▲0.76
グジャラート	7.54	7.58	7.85	8.29	7.98	6.40	7.06	7.23	7.38	7.26	▲1.14	▲0.52	▲0.62	▲0.91	▲0.72
ダマン・ディウ	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	0.02	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00
ダドラ・ナガルハヴエリ	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.00	0.03	0.03	0.01	0.02	▲0.01	0.02	0.02	0.01	0.01
マハーラーシュトラ	17.44	25.99	19.67	21.04	20.96	16.00	20.46	18.29	17.75	18.41	▲1.44	▲5.53	▲1.38	▲3.29	▲2.55
アンドラ・プラデシュ	10.37	9.31	11.34	10.58	10.81	11.60	8.95	11.23	10.73	10.67	1.23	▲0.36	▲0.11	0.15	▲0.14
カルナータカ	6.59	5.52	7.92	7.42	7.44	7.20	7.59	8.14	7.63	7.85	0.61	2.07	0.22	0.21	0.41
ゴア	0.31	0.35	0.27	0.34	0.31	0.30	0.34	0.30	0.35	0.33	▲0.01	▲0.01	0.03	0.01	0.02
ラクシャドウィープ	0.01	0.04	0.03	0.01	0.02	0.00	0.03	0.02	0.01	0.01	▲0.01	▲0.01	▲0.01	0.00	▲0.01
ケーララ	4.35	4.19	4.24	5.15	4.57	5.80	5.32	5.88	6.20	5.92	1.45	1.13	1.64	1.05	1.35
タミル・ナードゥ	8.74	4.42	6.22	6.13	5.97	10.00	9.76	11.48	10.60	10.86	1.26	5.34	5.26	4.47	4.89
ボンディシェリ	0.14	0.19	0.16	0.18	0.17	0.20	0.16	0.18	0.19	0.18	0.06	▲0.03	0.02	0.01	0.01
アンダマン・ニコバル諸島	0.06	0.13	0.10	0.08	0.09	0.10	0.11	0.09	0.08	0.09	0.04	▲0.02	▲0.01	0.00	0.00

(資料) Census of India 2001 および Census of India 2001 の D-2 表を用いて算出。

付表3 州間移動の人数と人口比率

(a) 2001年

前住地の州名	男性人口 (人)	全期間		1年未満		1～4年		5～9年		10年未満	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
全インド	532,223,090	19,098,082	(3.59)	1,142,279	(0.21)	4,253,242	(0.80)	3,116,640	(0.59)	8,512,161	(1.60)
ジャンムー・カシュミール	5,360,926	106,514	(1.99)	10,791	(0.20)	34,118	(0.64)	14,082	(0.26)	58,991	(1.10)
ヒマチャル・ブラデシュ	3,087,940	200,747	(6.50)	7,592	(0.25)	40,950	(1.33)	29,902	(0.97)	78,444	(2.54)
パンジャブ	12,985,045	677,793	(5.22)	26,387	(0.20)	99,843	(0.77)	77,922	(0.60)	204,152	(1.57)
チャンディールガル	506,938	98,528	(19.44)	5,994	(1.18)	27,009	(5.33)	18,386	(3.63)	51,389	(10.14)
ウッタラカンド	4,325,924	393,634	(9.10)	13,247	(0.31)	84,624	(1.96)	66,243	(1.53)	164,114	(3.79)
ハリヤナ	11,363,953	562,926	(4.95)	21,128	(0.19)	103,378	(0.91)	81,013	(0.71)	205,519	(1.81)
デリー	7,607,234	353,958	(4.65)	26,479	(0.35)	108,193	(1.42)	64,725	(0.85)	199,397	(2.62)
ラージャスターン	29,420,011	1,093,980	(3.72)	64,998	(0.22)	229,587	(0.78)	170,961	(0.58)	465,546	(1.58)
ウッタル・ブラデシュ	87,565,369	4,930,458	(5.63)	217,847	(0.25)	1,032,057	(1.18)	906,981	(1.04)	2,156,885	(2.46)
ビハール	43,243,795	3,049,437	(7.05)	151,440	(0.35)	707,616	(1.64)	549,620	(1.27)	1,408,676	(3.26)
シッキム	288,484	7,012	(2.43)	349	(0.12)	1,787	(0.62)	930	(0.32)	3,066	(1.06)
アルナチャル・ブラデシュ	579,941	10,981	(1.89)	711	(0.12)	4,015	(0.69)	1,794	(0.31)	6,520	(1.12)
ナガランド	1,047,141	37,418	(3.57)	1,527	(0.15)	8,218	(0.78)	6,423	(0.61)	16,168	(1.54)
マニプル	1,095,634	27,339	(2.50)	1,409	(0.13)	10,791	(0.98)	4,846	(0.44)	17,046	(1.56)
ミゾラム	459,109	19,595	(4.27)	393	(0.09)	15,324	(3.34)	794	(0.17)	16,511	(3.60)
トリプラ	1,642,225	33,165	(2.02)	965	(0.06)	6,383	(0.39)	4,611	(0.28)	11,959	(0.73)
メガラヤ	1,176,087	23,639	(2.01)	913	(0.08)	5,099	(0.43)	3,284	(0.28)	9,296	(0.79)
アッサム	13,777,037	276,597	(2.01)	12,983	(0.09)	69,371	(0.50)	44,063	(0.32)	126,417	(0.92)
西ベンガル	41,465,985	751,523	(1.81)	47,907	(0.12)	210,683	(0.51)	127,950	(0.31)	386,540	(0.93)
ジャールカンド	13,885,037	571,141	(4.11)	56,475	(0.41)	146,036	(1.05)	88,582	(0.64)	291,093	(2.10)
オディッシャ	18,660,570	471,555	(2.53)	29,869	(0.16)	139,949	(0.75)	86,413	(0.46)	256,231	(1.37)
チャティスガル	10,474,218	340,983	(3.26)	80,775	(0.77)	84,003	(0.80)	36,904	(0.35)	201,682	(1.93)
マディヤ・ブラデシュ	31,443,652	689,729	(2.19)	71,454	(0.23)	170,851	(0.54)	105,033	(0.33)	347,338	(1.10)
グジャラート	26,385,577	592,927	(2.25)	39,851	(0.15)	92,838	(0.35)	70,651	(0.27)	203,340	(0.77)
ダマン・ディウ	92,512	5,764	(6.23)	609	(0.66)	1,539	(1.66)	792	(0.86)	2,940	(3.18)
ダドラ・ナガルハヴェリ	121,666	2,556	(2.10)	380	(0.31)	824	(0.68)	295	(0.24)	1,499	(1.23)
マハーラーシュトラ	50,400,596	864,534	(1.72)	80,854	(0.16)	179,697	(0.36)	132,546	(0.26)	393,097	(0.78)
アンドラ・ブラデシュ	38,527,413	666,893	(1.73)	40,996	(0.11)	158,282	(0.41)	93,389	(0.24)	292,667	(0.76)
カルナータカ	26,898,918	788,935	(2.93)	66,306	(0.25)	164,016	(0.61)	114,976	(0.43)	345,298	(1.28)
ゴア	687,248	39,735	(5.78)	2,119	(0.31)	7,942	(1.16)	4,659	(0.68)	14,720	(2.14)
ラクシャドウィープ	31,131	1,180	(3.79)	120	(0.39)	470	(1.51)	150	(0.48)	740	(2.38)
ケーララ	15,468,614	540,549	(3.49)	18,528	(0.12)	120,290	(0.78)	77,311	(0.50)	216,129	(1.40)
タミル・ナードゥ	31,400,909	819,359	(2.61)	38,864	(0.12)	177,752	(0.57)	124,001	(0.39)	340,617	(1.08)
ボンディシェリ	486,961	40,389	(8.29)	1,534	(0.32)	7,386	(1.52)	5,547	(1.14)	14,467	(2.97)
アンドマン・ニコバル諸島	192,972	6,609	(3.42)	485	(0.25)	2,321	(1.20)	861	(0.45)	3,667	(1.90)

(b) 2011年

前住地の州名	男性人口 (人)	全期間		1年未満		1～4年		5～9年		10年未満	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
全インド	623,724,248	23,869,812	(3.83)	1,974,826	(0.32)	4,705,486	(0.75)	3,745,036	(0.60)	10,425,348	(1.67)
ジャンムー・カシュミール	6,665,561	165,644	(2.49)	14,052	(0.21)	31,937	(0.48)	15,876	(0.24)	61,865	(0.93)
ヒマーチャル・プラデシュ	3,473,892	232,034	(6.68)	11,856	(0.34)	36,753	(1.06)	28,044	(0.81)	76,653	(2.21)
パンジャブ	14,634,819	674,796	(4.61)	38,840	(0.27)	87,318	(0.60)	67,693	(0.46)	193,851	(1.32)
チャンディーガル	580,282	129,413	(22.30)	10,689	(1.84)	27,846	(4.80)	23,419	(4.04)	61,954	(10.68)
ウッタラカンド	5,154,178	402,421	(7.81)	20,564	(0.40)	69,184	(1.34)	62,777	(1.22)	152,525	(2.96)
ハリヤナ	13,505,130	723,701	(5.36)	41,975	(0.31)	116,451	(0.86)	98,794	(0.73)	257,220	(1.90)
デリー	8,976,410	629,469	(7.01)	61,099	(0.68)	158,528	(1.77)	127,932	(1.43)	347,559	(3.87)
ラージャスターン	35,620,086	1,509,920	(4.24)	100,580	(0.28)	283,733	(0.80)	236,240	(0.66)	620,553	(1.74)
ウッタル・プラデシュ	104,596,415	6,251,980	(5.98)	452,597	(0.43)	1,195,375	(1.14)	1,032,721	(0.99)	2,680,693	(2.56)
ビハール	54,185,347	3,851,560	(7.11)	326,572	(0.60)	781,190	(1.44)	658,443	(1.22)	1,766,205	(3.26)
シッキム	321,661	8,436	(2.62)	706	(0.22)	2,556	(0.79)	1,335	(0.42)	4,597	(1.43)
アルナチャル・プラデシュ	720,232	17,497	(2.43)	1,835	(0.25)	5,434	(0.75)	3,417	(0.47)	10,686	(1.48)
ナガランド	1,025,707	21,045	(2.05)	2,172	(0.21)	5,302	(0.52)	3,418	(0.33)	10,892	(1.06)
マニプル	1,369,764	37,453	(2.73)	3,807	(0.28)	11,078	(0.81)	6,528	(0.48)	21,413	(1.56)
ミゾラム	552,339	14,839	(2.69)	851	(0.15)	2,632	(0.48)	928	(0.17)	4,411	(0.80)
トリプーラ	1,871,867	39,627	(2.12)	2,647	(0.14)	6,641	(0.35)	4,536	(0.24)	13,824	(0.74)
メガラヤ	1,492,668	30,419	(2.04)	2,028	(0.14)	6,473	(0.43)	4,145	(0.28)	12,646	(0.85)
アッサム	15,954,927	320,401	(2.01)	34,225	(0.21)	79,244	(0.50)	47,204	(0.30)	160,673	(1.01)
西ベンガル	46,927,389	953,641	(2.03)	110,341	(0.24)	226,216	(0.48)	150,593	(0.32)	487,150	(1.04)
ジャールカンド	16,931,688	571,981	(3.38)	79,066	(0.47)	125,796	(0.74)	87,062	(0.51)	291,924	(1.72)
オディッシャ	21,201,678	601,500	(2.84)	62,879	(0.30)	166,113	(0.78)	111,242	(0.52)	340,234	(1.60)
チャティスガル	12,827,915	250,187	(1.95)	47,552	(0.37)	46,615	(0.36)	31,652	(0.25)	125,819	(0.98)
マディヤ・プラデシュ	37,612,920	997,949	(2.65)	112,002	(0.30)	218,951	(0.58)	157,262	(0.42)	488,215	(1.30)
グジャラート	31,482,282	685,510	(2.18)	64,401	(0.20)	107,004	(0.34)	83,170	(0.26)	254,575	(0.81)
ダマン・ディウ	150,100	6,830	(4.55)	638	(0.43)	1,597	(1.06)	951	(0.63)	3,186	(2.12)
ダドラー・ナガルハヴェリ	193,178	4,368	(2.26)	465	(0.24)	1,211	(0.63)	714	(0.37)	2,390	(1.24)
マハーラーシュトラ	58,361,397	1,214,092	(2.08)	114,847	(0.20)	227,474	(0.39)	182,244	(0.31)	524,565	(0.90)
アンドラ・プラデシュ	42,509,881	834,468	(1.96)	70,049	(0.16)	182,693	(0.43)	130,579	(0.31)	383,321	(0.90)
カルナータカ	31,057,742	986,004	(3.17)	80,287	(0.26)	174,282	(0.56)	137,411	(0.44)	391,980	(1.26)
ゴア	740,711	44,464	(6.00)	3,910	(0.53)	9,088	(1.23)	5,848	(0.79)	18,846	(2.54)
ラクシャドウィープ	33,106	8,566	(25.87)	406	(1.23)	889	(2.69)	441	(1.33)	1,736	(5.24)
ケーララ	16,021,290	595,294	(3.72)	36,146	(0.23)	115,308	(0.72)	81,100	(0.51)	232,554	(1.45)
タミル・ナードゥ	36,158,871	923,425	(2.55)	57,729	(0.16)	170,243	(0.47)	140,266	(0.39)	368,238	(1.02)
ボンディシェリ	610,485	121,467	(19.90)	5,967	(0.98)	21,403	(3.51)	19,261	(3.16)	46,631	(7.64)
アンドマン・ニコバル諸島	202,330	9,411	(4.65)	1,046	(0.52)	2,928	(1.45)	1,790	(0.88)	5,764	(2.85)

(資料) 付表1に同じ。

付表4 州間移動の構成比（州別）

(%)

前住地の州名	2001年					2011年					構成比の変化幅				
	全期間	1年未満	1～4年	5～9年	10年未満	全期間	1年未満	1～4年	5～9年	10年未満	全期間	1年未満	1～4年	5～9年	10年未満
全インド	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ジャンムー・カシュミール	0.56	0.94	0.80	0.45	0.69	0.69	0.71	0.68	0.42	0.59	0.13	▲0.23	▲0.12	▲0.03	▲0.10
ヒマーチャル・プラデシュ	1.05	0.66	0.96	0.96	0.92	0.97	0.60	0.78	0.75	0.74	▲0.08	▲0.06	▲0.18	▲0.21	▲0.18
パンジャブ	3.55	2.31	2.35	2.50	2.40	2.83	1.97	1.86	1.81	1.86	▲0.72	▲0.34	▲0.49	▲0.69	▲0.54
チャンディールガル	0.52	0.52	0.64	0.59	0.60	0.54	0.54	0.59	0.63	0.59	0.02	0.02	▲0.05	0.04	▲0.01
ウッタラカンド	2.06	1.16	1.99	2.13	1.93	1.69	1.04	1.47	1.68	1.46	▲0.37	▲0.12	▲0.52	▲0.45	▲0.47
ハリヤナ	2.95	1.85	2.43	2.60	2.41	3.03	2.13	2.47	2.64	2.47	0.08	0.28	0.04	0.04	0.06
デリー	1.85	2.32	2.54	2.08	2.34	2.64	3.09	3.37	3.42	3.33	0.79	0.77	0.83	1.34	0.99
ラージャスターン	5.73	5.69	5.40	5.49	5.47	6.33	5.09	6.03	6.31	5.95	0.60	▲0.60	0.63	0.82	0.48
ウッタル・プラデシュ	25.82	19.07	24.27	29.10	25.34	26.19	22.92	25.40	27.58	25.71	0.37	3.85	1.13	▲1.52	0.37
ビハール	15.97	13.26	16.64	17.64	16.55	16.14	16.54	16.60	17.58	16.94	0.17	3.28	▲0.04	▲0.06	0.39
シッキム	0.04	0.03	0.04	0.03	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00
アルナチャル・プラデシュ	0.06	0.06	0.09	0.06	0.08	0.07	0.09	0.12	0.09	0.10	0.01	0.03	0.03	0.03	0.02
ナガランド	0.20	0.13	0.19	0.21	0.19	0.09	0.11	0.11	0.09	0.10	▲0.11	▲0.02	▲0.08	▲0.12	▲0.09
マニプル	0.14	0.12	0.25	0.16	0.20	0.16	0.19	0.24	0.17	0.21	0.02	0.07	▲0.01	0.01	0.01
ミゾラム	0.10	0.03	0.36	0.03	0.19	0.06	0.04	0.06	0.02	0.04	▲0.04	0.01	▲0.30	▲0.01	▲0.15
トリプーラ	0.17	0.08	0.15	0.15	0.14	0.17	0.13	0.14	0.12	0.13	0.00	0.05	▲0.01	▲0.03	▲0.01
メガラヤ	0.12	0.08	0.12	0.11	0.11	0.13	0.10	0.14	0.11	0.12	0.01	0.02	0.02	0.00	0.01
アッサム	1.45	1.14	1.63	1.41	1.49	1.34	1.73	1.68	1.26	1.54	▲0.11	0.59	0.05	▲0.15	0.05
西ベンガル	3.94	4.19	4.95	4.11	4.54	4.00	5.59	4.81	4.02	4.67	0.06	1.40	▲0.14	▲0.09	0.13
ジャールカンド	2.99	4.94	3.43	2.84	3.42	2.40	4.00	2.67	2.32	2.80	▲0.59	▲0.94	▲0.76	▲0.52	▲0.62
オディッシャ	2.47	2.61	3.29	2.77	3.01	2.52	3.18	3.53	2.97	3.26	0.05	0.57	0.24	0.20	0.25
チャティスガル	1.79	7.07	1.98	1.18	2.37	1.05	2.41	0.99	0.85	1.21	▲0.74	▲4.66	▲0.99	▲0.33	▲1.16
マディヤ・プラデシュ	3.61	6.26	4.02	3.37	4.08	4.18	5.67	4.65	4.20	4.68	0.57	▲0.59	0.63	0.83	0.60
グジャラート	3.10	3.49	2.18	2.27	2.39	2.87	3.26	2.27	2.22	2.44	▲0.23	▲0.23	0.09	▲0.05	0.05
ダマン・ディウ	0.03	0.05	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.00	▲0.02	▲0.01	0.00	0.00
ダドラー・ナガルハヴェリ	0.01	0.03	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.01	▲0.01	0.01	0.01	0.00
マハーラーシュトラ	4.53	7.08	4.22	4.25	4.62	5.09	5.82	4.83	4.87	5.03	0.56	▲1.26	0.61	0.62	0.41
アンドラー・プラデシュ	3.49	3.59	3.72	3.00	3.44	3.50	3.55	3.88	3.49	3.68	0.01	▲0.04	0.16	0.49	0.24
カルナータカ	4.13	5.80	3.86	3.69	4.06	4.13	4.07	3.70	3.67	3.76	0.00	▲1.73	▲0.16	▲0.02	▲0.30
ゴア	0.21	0.19	0.19	0.15	0.17	0.19	0.20	0.19	0.16	0.18	▲0.02	0.01	0.00	0.01	0.01
ラクシャドウィープ	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.04	0.02	0.02	0.01	0.02	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01
ケーララ	2.83	1.62	2.83	2.48	2.54	2.49	1.83	2.45	2.17	2.23	▲0.34	0.21	▲0.38	▲0.31	▲0.31
タミル・ナドゥ	4.29	3.40	4.18	3.98	4.00	3.87	2.92	3.62	3.75	3.53	▲0.42	▲0.48	▲0.56	▲0.23	▲0.47
ボンディシェリ	0.21	0.13	0.17	0.18	0.17	0.51	0.30	0.45	0.51	0.45	0.30	0.17	0.28	0.33	0.28
アンダマン・ニコバル諸島	0.03	0.04	0.05	0.03	0.04	0.04	0.05	0.06	0.05	0.06	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02

(資料) 付表2に同じ。